

○推薦入試Aの口述試験について

口述試験において、各プログラムが問う専門知識の出題範囲は以下のとおりです。

なお、口述試験では、試験室に設置される黒板またはホワイトボードを使って説明することは可能ですが、パソコン・プロジェクター等の使用はできません。

生物工学プログラム

主な分野は、(1) 微生物学、(2) 生物化学工学、(3) 分子生物学、(4) 生化学、(5) バイオテクノロジー基礎I、および(6) バイオテクノロジー基礎IIです。「基本的な知識と理解」を確認するために、それぞれ5分程度（合計20分）の質疑応答を行います。各分野の主たる範囲は、下記のとおりです。

- (1) 「微生物学 -地球と健康を守る-」、裳華房、1～7章、9～11章
- (2) 「生物化学工学」 第2版、東京化学同人、3.2, 5, 7, 9
- (3) 「ヴォート生化学」 第4版、東京化学同人、5, 29, 30, 31, 32
- (4) 「ヴォート生化学」 第4版、東京化学同人、4.1, 6.1, 6.2, 8.1, 17.1, 17.2, 17.3, 21.1
- (5) および(6) 生物工学に関する一般的な知識を問う問題

なお、広島大学工学部第三類生物工学プログラムを卒業（見込み）の者には、(1)～(4)を課します。上記以外の者は、(3),(4)に加えて、(1),(2),(5),(6)から任意の2科目を選択することができます。

この他に、大学院での研究計画及びその背景について5分程度の説明を求め、それに対して5分程度の質疑応答を行います。

食品生命科学プログラム

指導を希望する教員の専門分野。教員の専門分野は、統合生命科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife/research/food-and-agrilife-science>）を参照してください。

生物資源科学プログラム

指導を希望する教員の専門分野。教員の専門分野は、統合生命科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife/research/bioresource-science>）を参照してください。

生命環境総合科学プログラム

指導を希望する教員の専門分野。教員の専門分野は、統合生命科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife/research/life-and-environmental-sciences>）を参照し

てください。

基礎生物学プログラム

生物学（参考教科書「キャンベル生物学 原書11 版，丸善出版」）及び指導を希望する教員の専門科目。教員の専門科目は，統合生命科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife/research/basic-biology>）を参照してください。

数理生命科学プログラム

志望する分野に関する科目（数学，物理学，化学，生物学のいずれか）及び指導を希望する教員の専門科目

生命医科学プログラム

生化学，細胞生物学，分子生物学一般，及び指導を希望する教員の専門科目に関連する基礎知識を問います。教員の専門科目は，統合生命科学研究科ホームページ（<https://www.hiroshima-u.ac.jp/ilife/research/biomedical-science>）を参照してください。